

藻類養殖情報（令和 7 年 3 月号）

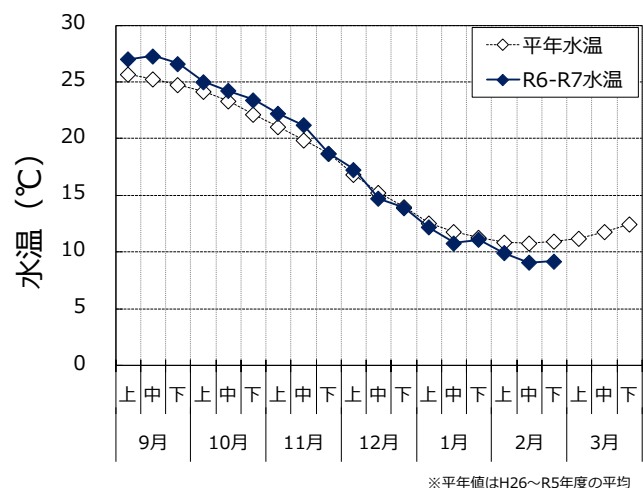
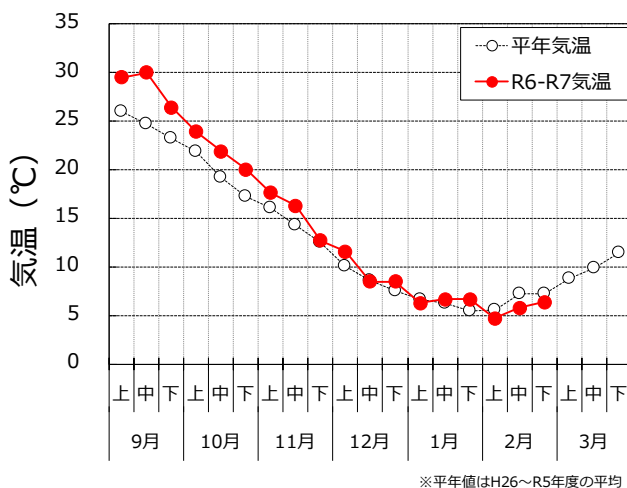
令和 7 年 3 月 10 日発行
 （地独）大阪府立環境農林水産総合研究所
 水産技術センター

○漁場環境

- ・気温（谷川）：2 月は月を通じて平年より 0.9～1.4℃低めに推移しました。
- ・水温（谷川）：2 月は月を通じて平年より 0.9～1.7℃低めに推移しました。特に中旬以降は常に 10℃を下回り、寒い冬となりました。

下記の水産技術センターホームページで谷川地先の水温情報を毎日更新し、1 週間先までの水温の推移を予測しておりますのでご利用下さい。

URL：<https://www.knsk-osaka.jp/suisan/gijutsu/suion/index.html>



旬別気温・水温の推移（谷川地先 9 時）（平年値は H26～R5 年度の平均）

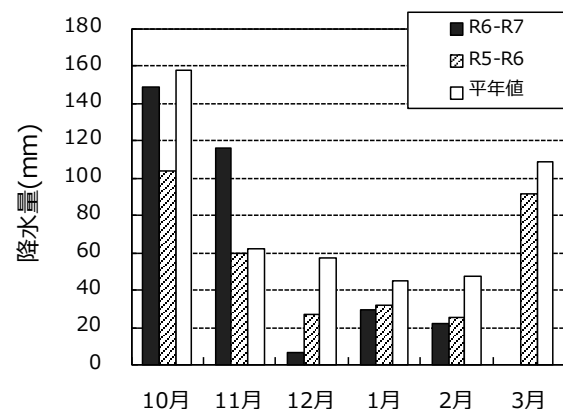
- ・降水量（谷川）：2 月の降水量は 22.2 mm となり、平年の半分程度の降水量となりました。

・今後の気温降水量予測（気象庁季節予報）

3 月 8 日～4 月 7 日の予報期間中について、向こう 1 か月の気温は暖かい空気に覆われやすいため、平年並みか高いと予報されています。

天気は数日の周期で変わりますが、平年と同様に晴れの日が多く、降水量は平年並みとなる模様です。

URL：<https://www.jma.go.jp/bosai/season/>



降水量（谷川地先）
 （平均値は H26～R5 年度の平均）



○漁場水質調査結果（3月3日採水）

- ・塩分：塩分は 30.43～32.43 でした。
- ・リン：各地区のリン濃度は 0.13～0.42 $\mu\text{mol/l}$ でした。

ワカメ養殖：各地区ともワカメの色落ち警戒濃度を上回っていますが、全体的には低い値となっています。

ノリ養殖：尾崎・西鳥取地区でノリの色落ち警戒濃度を下回っています。特に西鳥取地区は非常に低い値になっています。

- ・窒素：各地区の窒素濃度は 0.35～6.75 $\mu\text{mol/l}$ でした。

ワカメ養殖：田尻、西鳥取、下荘、谷川地区でワカメの色落ち警戒濃度を下回る値となっています。

ノリ養殖：尾崎、西鳥取地区でノリの色落ち警戒濃度を下回っています。特に西鳥取地区は非常に低い値になっています。

	ワカメ	ノリ
リン ($\mu\text{mol/l}$)	0.1	0.5
窒素 ($\mu\text{mol/l}$)	2	10

藻類色落ち警戒栄養塩濃度
(この数値を下回ると色落ちの可能性あり)

※青字はノリの色落ち警戒濃度以下、赤字はワカメの色落ち警戒濃度以下

漁場	田尻	岡田浦	尾崎*1	西鳥取*1	下荘	淡輪*2	谷川
塩分 (psu)	31.82	31.83	31.14	31.51	31.47	30.43	32.43
リン ($\mu\text{mol/l}$)	0.17	0.28	0.42	0.13	0.24	0.40	0.27
窒素 ($\mu\text{mol/l}$)	1.34	4.98	6.75	0.35	2.00	5.81	1.90

*1 尾崎・西鳥取地区にはノリ漁場があります。

*2 淡輪地区は海洋センター前で採水しています

○赤潮発生状況

3月5日の海洋観測では赤潮の発生は認められませんでした。養殖場周辺においては2月中旬にはユーカンピアやセラチウムという植物プランクトンがやや多く出現しており、栄養塩の低下を引き起こした可能性があります。最近の大阪湾内の赤潮発生状況については下記の水産技術センターホームページに掲載しておりますのでご参照下さい（冬季は2週間に1回更新）。

URL：<https://www.knsk-osaka.jp/suisan/gijutsu/akashio/akashio/sokuho.html>



○養殖状況（3月3日）

ノリ：西鳥取・尾崎両地区ともに、摘採作業が行われていますが、2月を通じて色落ちが生じています。

ワカメ：1m程度まで生長し、生わかめでの出荷が進められています。しかしながら、一部地区においては著しい色落ちが生じています

○病害異常

ノリ、ワカメともに漁場によって2月には強度の色落ちが生じていました。今後の降雨次第では川から栄養塩が供給され復調が期待されます。また、今後は水温が上昇に転じ、ワカメではえび（ヨコエビ類）の増加が見込まれますので、収穫のタイミングを十分に検討してください。

※ノリ・ワカメの異常が疑われる際には、水産技術センターへ葉体を持参して頂ければ、随時検査します。